

(アセスメントで明らかにするもの)						
課題分析標準項目	状態	原因・背景		問 題	生活全般の解決すべき課題（ニーズ）仮置き	ニーズ番号 （優先順位） 仮置き
健康状態	<p>・課題分析標準項目ごとに、もれなく記入する。【P420「課題分析標準項目 記載例」】参照。</p> <p>・介護支援専門員の意見（「問題ない」等）は記入しない。</p> <p>・今現在どのような状態なのか事実のみ記入する。</p> <p>・何に支障が生じているのかを明記する。（生活に支障を生じている事柄を整理する）</p>	<p>・疾患、心身機能、活動能力、性格、意欲、人間関係、住環境、生活習慣等、状態を引き起こしている原因・背景を記入する。</p> <p>・原因が明確でないときは「原因不明」と記入する。</p> <p>・誰からの情報であるかを（ ）で記入する。</p>	利用者	<p>◎利用者・家族欄</p> <p>・支障が生じている現状を、どのように認識しているか。</p> <p>・どのようなことで困っているのか。（利用者・家族の困りごと）</p> <p>・憶測で記入せず、実際に面談した上で実際に語られた言葉から記入する。</p> <p>◎意見欄</p> <p>・状態と原因の関係性</p> <p>・なぜ困り事が起きているのか。</p> <p>・何が問題となっているのか。</p> <p>・見えている事ばかりでなく、潜在している事柄にも目を向ける。</p> <p>・今後このような状態が続くと、どのようなになってしまう可能性があるのか。</p> <p>・困り事を解決するために何が必要か。</p> <p>CM以外の意見も記載する。（主治医やその他専門職種）</p> <p>今後の予後予測が大切</p> <p>「今の生活を続けて行くと〇〇になってしまうので、△△する必要がある」</p> <p>「このままでは生活の悪化が予測されるため、◇◇が必要」等</p> <p>問題から予測される将来の生活像をイメージし、これを解決・予防するために必要な手立てを書く。</p>	<p>◎利用者・家族欄</p> <p>「～に困っているから〇〇したい」</p> <p>「今後〇〇していきたい」</p> <p>・意欲に転換できる働きかけ。</p> <p>・意欲に転換できない事柄や、まったく問題視していない場合には記入せず、引き続き検討すべき課題として「支援経過記録」に記入する。</p> <p>◎意見欄</p> <p>・解決後に期待できる効果。</p> <p>「〇〇することで、このような生活が送れる」</p> <p>「～の様になって欲しい」等</p> <p>問題・課題が解決した先に見える生活像をイメージする。</p>	
ADL			意見			
IADL			利用者			
認知			家族			
コミュニケーション能力			意見			
社会との関わり	利用者					
			家族			
			意見			

・急を要すること

・生命の危機に関すること

・解決することで最も良い効果が期待できること

・生活歴や生活習慣から、利用者が優先したいと思っていること

適当に付けず、何から解決すべきか熟慮すること。また、先に解決することで他の課題にも効果が波及することも視点に入れる。